



プレスリリース カテゴリー: [海外拠点開設]

2015年3月3日発信

報道関係者各位

東京外国語大学が台湾・淡江大学に「日本語共同教育」拠点を開設

～ Cool Japan 日本紹介イベントなども計画 ～

ヤンゴン大学に続き TUFSS スーパーグローバル構想 Global Japan Office 第2号

東京外国語大学 (TUFSS) は、TUFSS スーパーグローバル大学構想における「日本から世界への発信力の強化」「大学グローバル化支援」を担うため、主要な海外協定校に「日本研究・日本語教育」の拠点となる「Global Japan Office」を設置しており、昨年12月(開所式1月30日)に、ヤンゴン大学(在ミャンマー)に同オフィス第1号を設置し、10年後には世界38拠点を開設予定です。昨年12月末に第2号となる淡江大学(台湾)にオフィスを設置し、このたび、3月6日(金)に同大学において開所式をおこなうこととなりましたので、お知らせします。



このたび本学がオフィスを設置した淡江大学は、1950年に創立した「淡江英語専科学校」を起源とする私立大学で、現在8学部約27000人の学生を有し、私学の最高学府として台湾最古の歴史を誇ります。淡江大学と本学は、これまでも、インターネットを介して遠隔交流の授業をおこなっており、互いの母語を学ぶ学生同士が交流し、同世代の学生が互いの考え方や文化を知る良い機会となってきました。本学からは、毎年、学生をインターンとして派遣しており、平成26年度は6名の学部生が淡江大学で日本語教育の実習を行いました(別紙2参照)。開所式翌週の13日にも遠隔国際学術会議を予定しており(別紙3参照)、交流は盛んです。

オフィスは同大学淡江校舎L656室に設置され、本学で日本語教育を学ぶ学生と、淡江大学で日本語を学ぶ学生とのJoint Education Program(共同教育プログラム)の実施拠点として活用されます。今後は、日本紹介イベントや日本語補習の課外活動の提供なども計画されています。

2015年3月6日(金)に淡江大学にて開所式を開催いたします。詳細は別紙1をご覧ください。

<Global Japan Office 概要>

10年後には主要な海外協定校に38拠点を開設予定

1. 日本研究・日本語教育の実施拠点
2. Joint Education Programのコーディネーター拠点
3. 日本語教育学生のインターンシップ拠点
4. 本学学生・院生のボランティア拠点
5. 現地で学ぶ日本人留学生や日本をめざす現地学生への情報提供拠点
などとして活用されます。



淡江大学で行われた日本語教育インターンの様子

<本件に関するお問い合わせ>

東京外国語大学 総務企画課 広報係

TEL: 042-330-5151 FAX: 042-330-5140 E-mail: soumu-koho@tufs.ac.jp



東京外国語大学

淡江大学 Global Japan Office 開所式

■日時

2015年3月6日(金) 16:50~17:20

■会場

淡江大学 淡水キャンパス 国際会議場

住所：25137 新北市淡水區英專路 151 号

■主催

淡江大学、東京外国語大学

■式次第

16:15- 式典

1) 開会の辞

2) 講演(趣旨説明)

- 張家宜淡江大学長、吳錫徳外語学院

- 立石博高 東京外国語大学長、林俊成大学院総合交際学研究院教授

17:30-17:50 オフィス開所 テープカット

遠隔日本語教育実演

■出席予定者

【淡江大学側】

張家宜校長

胡宜仁行政副校長

戴萬欽國際事務副校長

林信成院長(文學院)

吳錫徳院長(外語學院)

羅孝賢總務長(總務處)

彭春陽執行長(校友服務處)

蔡振興主任(英文系)

林盛彬主任(西語系)

鄭安群主任(法文系)

鍾英彥主任(徳文系)

馬耀輝主任(日文系)(翻譯)

蘇淑燕主任(俄文系)

任耀庭所長(亞洲所)

李佩華國際長

【東京外国語大学側】

立石博高学長

金口恭久理事・事務局長

林佳世子副学長

野本京子国際日本研究センター長

林俊成大学院総合国際学研究院教授

成瀬智副理事 他

■ 淡江大学における日本語教育インターンシップ報告

東京外国語大学は、「日本から世界への発信を担う大学」として、全学生が日本語・日本文化を教えられるようにするためのプログラムの開講に向けて準備を進めております。淡江大学 Global Japan Office は、その実践の場としても活用いたします。

2014 年 12 月に東京外国語大学の学生が淡江大学において日本語教師の実践研修をおこないました。

研修の目的：海外の高等教育機関における日本語教育の現場で、学んできた知識を活かした授業をおこなえるように努め、日本語教師としての心構えや技術を学ぶ。そして、今後に向けた指針とする。

研修期間：2014 年 12 月 21 日（日）～28 日（日）

研修先：私立淡江大学 淡江キャンパス 外国語文学部日本語文学科

学習者：外国語文学部日本語文学科 2 年生。大半は、大学に入学してから 2 年弱日本語を学習した生徒。

担当授業：読解 1 コマ、会話 2 コマ

また、文化交流活動として、放課後 1 時間の「文化紹介」を実施。

実習生：(いずれも東京外国語大学)

イタリア語科、日本語科、ポーランド語科、英語科、インドネシア語科、ロシア語科 各 1 名

詳細は、『2014 年度淡江大学インターンシップ報告書』（東京外国語大学所蔵、全 33 頁）参照。



「会話」の授業風景



放課後「文化紹介」参加者集合写真



放課後「文化紹介」茶道実践

■ 淡江大学日本語文学科・東京外国語大学グローバルコミュニケーションコース共催 遠隔国際学術会議 「日本語教育の中の「越境」—e-learning と学習のグローバル化」

「日本語教育の中の「越境」—e-learning と学習のグローバル化」をテーマにして、台湾の淡江大学・東吳大学・高雄科技大学、日本の早稲田大学・東京外国語大学の5大学で、遠隔システムによる日本語教育に関する国際シンポジウムを開催します。

日付： 2015年3月13日（金）

時間： 16:00-18:00（日本時間）

場所： 東京外国語大学研究講義棟 205 教室

参加： 無料

16:10-16:15 開幕式

16:15-17:00 講演

講演者：宮崎 里司（早稲田大学大学院日本語教育研究科教授）

司会：堀越 和男（淡江大学日本語文学系副教授）

テーマ：「学習者の学びのグローバル化：e-Learning と日本語教育」

17:10-17:40 議論

司会兼参加者：頼 錦雀（東吳大学日本語文学系教授兼外国語文学学院院长）

参加者①：宮崎 里司（早稲田大学大学院日本語教育研究科教授）

参加者②：林 俊成（東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授）

参加者③：葉 淑華（高雄第一科技大学教授兼外語学院院长）

17:40-18:00 質疑応答

台湾と日本での遠隔日本語教育関連の国際会議を開催します。
ネット上での開催ですので、興味のある方、ご参加ください。

2015年遠隔国際学術会議
日本語教育中の「越境」：
e-Learning 與學習全球化



【日 期】
2015年3月13日（星期五）

【遠隔学校】
淡江大学・東京外国語大学・東吳大学・高雄第一科技大学

【議 程】
16:10-16:15 開幕式
16:15-17:00 專題演講
講演者：宮崎 里司（早稲田大学大学院日本語教育研究科教授）
司 会：堀越 和男（淡江大学日本語文学系副教授）
議 題：學習者の学びのグローバル化：e-Learning と日本語教育。
17:00-17:10 休養時間
17:10-17:40 高橋雄雄
主持人兼司会者：頼 錦雀（東吳大学日本語文学系教授兼外國語文学学院院长）
與 議 人①：宮崎 里司（早稲田大学大学院日本語教育研究科教授）
與 議 人②：林 俊成（東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授）
與 議 人③：葉 淑華（高雄第一科技大学教授兼外語学院院长）
17:40-18:00 遠隔國際問答

【地 點】
淡江大学 慶生綜合大樓1501教室
東京外国語大学 遠隔教室研究講義棟205
東吳大学 普仁講堂
高雄第一科技大学 遠隔教室教室J124

日本時間3月13日16:00-18:00
本学研究講義棟205教室にて開催
参加無料です。

主辦單位：
淡江大学外國語學院日本語學系
協辦單位：
東京外国語大学JILS・KPI・KPI・KPI
東吳大学日本語學系
高雄第一科技大学應用語文系